

# 第2回オープンキャンパス 模擬授業一覧

[2024年8月11日(日) 山の日]

栄養	<p><b>「食物アレルギーと腸内環境」(准教授 田邊 宏基)</b></p> <p>体内の防御を司る細胞が食物を異物と誤認してしまい、以後、特定の食物に対して防御細胞が敵対行動を行ってしまうことを食物アレルギーといいます。本講義では、このような誤認がどうして起こってしまうのか?少しでも回避するためには何に気を付けるべきかを腸内環境と関連付けてお話します。</p>
看護	<p><b>① 「看護に活かす理科の知識」(教授 長谷部 佳子)</b></p> <p>看護業務に携わる際には、笑顔と優しい心配り、そして安全の確保が大切です。</p> <p>そのためには、沢山の生物や化学、物理の知識も求められているのです。</p> <p>この模擬講義では、高校で学ぶ生物・化学が看護実践にどのように役立つのか、ミニ実験を通して考えてみたいと思います。</p>
	<p><b>② 「五感を活かしたコミュニケーション」(教授 加藤 千恵子)</b></p> <p>看護は対象者とのコミュニケーションを元に信頼関係を育んでいきます。</p> <p>コミュニケーションの方法を少しだけ試してみましよう。自己開示と他者理解を繰り返す。</p> <p>学び、知識を身に付け、経験することで様々な気づきが生まれます。気づいて、できることから工夫を重ねよう。</p>
社会福祉	<p><b>「なぜコミュニティソーシャルワークが必要か？」</b> <b>-映画から考える戦後地域社会の変化-</b>(講師 江連 崇)</p> <p>地域社会にはさまざまな福祉的な課題が存在します。それら課題を解決するのがコミュニティソーシャルワークで、今日の社会福祉においてとても重要な分野とされています。日本では高度経済成長期にコミュニティソーシャルワークが注目され始めます。ではなぜ、注目されたのでしょうか。映画を用いながら皆さんと一緒に考えていきましょう。</p>
社会保育	<p><b>「遊びを支える保育者の役割」(准教授 棚橋 裕子)</b></p> <p>みなさんは幼い頃、夢中になって遊んだ経験はありますか?子どもが好むこと、つまり、おもしろいと感じることはそれ自体に意味があり、それが基軸となって遊びが展開する保育は、子どもに創造力や課題解決力等、たくさんの力を発揮させると言われています。当日は、実際の保育現場での遊び場面の画像や映像を通して、みなさんと一緒に遊びのおもしろさを探りながら、保育者の役割についてお伝えしたいと思います。</p>